

科目名	学科	学年	単位	教科書（発行者）	副教材等
初級中国語	国際交流科	2	3	<高校版>中国語はじめの一步（白水社）	2学期途中から<新版>中国語つぎなる一步（白水社）

科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・中国語の発音に習熟し、中国語で意向を正確に伝える力を育成する ・中国の言語、文化により深い興味関心を持たせる
---------	--

学期	月	単元・題材	学習項目	学習のねらい（到達目標）
一	4	復習 第1課 ～第5課 第6課	<ul style="list-style-type: none"> ・発音（四声）・簡単な挨拶文 ・自己紹介・数詞 ・完了の'了'・所在の'在' ・助動詞'想'・数字、日付、時刻 ・「動作の時点」を言う表現 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の基本中の基本である数を正確に発音で、かつ聞いて理解できる。 ・年月日、曜日、時刻を聞いて理解できる。 ・自分の誕生日を正確に発音し、相手に理解させることができる。
	5	第7課	<ul style="list-style-type: none"> ・介詞"在""离" ・「存在」を表す"有" ・反復疑問文 	<ul style="list-style-type: none"> ・位置関係を表す語を用いて、「ある場所にあるモノが存在する」という簡単な内容の文が理解できる。
	6	第8課 第9課	<ul style="list-style-type: none"> ・「時間量」を表す語 ・助動詞"得" ・介詞"从" ・「過去の経験」を表す"过" ・介詞"给" 	<ul style="list-style-type: none"> ・二（順番）と両（量）の違いがわかり、区別して使い分けられる。 ・「～ねばならない」「～できる」等の表現を使える
	7	第10課	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞"能"、"会" ・「動作の程度」を言う表現 	<ul style="list-style-type: none"> ・技術を習得して「できる」ものと身体的能力や条件で「できる」ものを区別して表現できる。
	9	第11課 第12課 第13課	<ul style="list-style-type: none"> ・「動作の進行」を言う表現 ・選択疑問 ・「比較」の表現 ・「類似」の表現 ・2つの目的語をとる動詞 ・"的"の用法 	<ul style="list-style-type: none"> ・今行われている状態を正確に表現できる。 ・二つの事項を比べたり、選択する表現ができる。 ・「(人)に(モノ)を～する」という表現を用いることができる。 ・形容詞句を用いた表現ができる。
	10	「中国語つぎなる一步」 第1課	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞"可以"、"要" ・主述述語文 ・目的語が主述句のとき ・「原因理由」を表す"因为" ・「逆接」を表す"可是" ・文末の助詞"吧""呢" ・連動文 ・"是～的"の構文 ・疑問詞"怎么" 	<ul style="list-style-type: none"> ・「～してもよい」「～しなければならない」等の表現を用いることができる。 ・「～だから」「～だが」を表す接続詞を使ったやや複雑な文を理解することができる。 ・「～ですよ」「～だね」「～は？」に当たる助詞を理解し、区別し、ニュアンスがわかる。 ・「～は～のだ」という強調構文が理解できる。 ・「どう」「どうして」「どのように」に当たる語を使って疑問文を作れる。
	11	第2課 第3課	<ul style="list-style-type: none"> ・"了"の三つの用法 ・副詞"就" 	<ul style="list-style-type: none"> ・より自然な中国語にするための語（了・就）の用法が理解できる。
	12	第4課	<ul style="list-style-type: none"> ・副詞"有点儿" ・「仮定」を表す"要是" ・存現文 ・"又～又～"の用法 ・「状態の持続」を表す"着" ・副詞"再" ・部分否定 	<ul style="list-style-type: none"> ・「少し+（不便・不快感）」の用法がわかる。 ・「もし～、～であり、かつ」を使った表現ができる ・舞台設定（時+場所）+動詞+数量+主語の文の構造が理解できる。 ・「～ている、～である」の表現ができる。 ・「（近い将来）また～」の表現が理解できる。 ・「必ずしも～ない」の表現ができる。
三	1	第5課 第6課	<ul style="list-style-type: none"> ・方向補語 ・「使役」を表す"让" 	<ul style="list-style-type: none"> ・「～てくる、～ていく、～始める」の表現ができる。 ・「(人)に～させる」の表現が理解できる。
	2	第7課 第8課		

評価の観点・評価の方法	◎評価の観点			
	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
	コミュニケーションに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。	中国語を用いて、自分の考えなどを話したり、書いたりする。	中国語を聞いたり、読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解する。	中国語の学習を通して、言葉とその背景にあるものの考え方や文化などを理解し、知識を身に付けている。
◎評価の方法				
「評価の4観点」に基づいた評価、授業中の発表、提出物、定期考査の成績、出席状況を総合評価して行う。				